

Daigo

議会だより



～ 町の課題解決に、高校生の私達ができることは ～

Contents »

2～4 p — 令和6年第3回定例会
5～6 p — 予算・決算委員会（決算審査）
7～9 p — 議員と話そう会
10～12 p — 常任委員会合同視察研修会

13～14 p — 議員活動報告・つぶやき議長
15 p — あん議会の質問は今？！
16～23 p — 一般質問
24 p — 「わくわくわたしの夢」

令和6年 第3回定例会

袋田の滝吊り橋改修工事などの補正予算を可決！

令和6年第3回定例会が9月4日から13日までの10日間の会期で開催されました。

今回の議会では、袋田の滝観瀑施設改修工事などの補正予算や令和5年度の決算認定を含む町長提出の議案が23件、報告2件、議員提出議案2件が審議され、すべての議案が可決されました。



一般質問では、7名の議員が登壇し、町政全般についての質問が展開されました。

一般会計補正予算(第5号)の主なもの

歳 入	補 正 額
地方特例交付金	5 4 5 0 万 3 千 円
地方債	3 1 8 5 万 4 千 円
繰入金	5 2 1 2 万 9 千 円

歳 出	補 正 額
大子北デイサービスセンター改修工事	9 3 8 万 3 千 円
国県支出金等返還金	1 7 3 6 万 7 千 円
観瀑施設吊橋改修工事	4 9 9 2 万 9 千 円
公共施設整備基金積立金	5 8 1 1 万 3 千 円

第3回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果	議案番号	議 案 名	結 果
報告5号	令和5年度大子町一般会計継続費の精算報告について	報告済	議案第72号	水路改良工事請負契約の締結について	原案可決
報告6号	令和5年度大子町浄化槽整備事業特別会計継続費の精算報告について	報告済	議案第73号	し尿収集車の取得について	原案可決
議案第68号	令和6年度大子町一般会計補正予算(第4号)の専決処分承認を求めることについて	原案可決	議案第74号	大子町公平委員会委員の選任について	原案同意
議案第69号	大子町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	議案第75号	大子町人権擁護委員の推薦について	原案適任
議案第70号	大子北デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例	原案可決	議案第76号	大子町人権擁護委員の推薦について	原案適任
議案第71号	茨城租税債権管理機構規約の一部改正について	原案可決	議案第77号	令和6年度大子町一般会計補正予算(第5号)	原案可決
			議案第78号	令和6年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決

議案番号	議案名	結果	議案番号	議案名	結果
議案第79号	令和6年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	議案第87号	令和5年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定※
議案第80号	令和6年度大子町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議案第88号	令和5年度大子町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定※
議案第81号	令和6年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	議案第89号	令和5年度大子町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第82号	令和6年度大子町浄化槽整備事業会計補正予算(第1号)	原案可決	議案第90号	令和5年度大子町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案認定
議案第83号	令和6年度大子町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	議員提出議案第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書	原案可決
議案第84号	令和5年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定※	議員提出議案第4号	議員の派遣について	原案可決
議案第85号	令和5年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定※	※は賛否がわかれた議案		
議案第86号	令和5年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定※			

議案の賛否状況

採決にあたり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議案番号	議案名	賛否数		議員名										
		賛成	反対	介川秀男	高村和成	根本厚子	飯村剛	川井正人	福田祥江	須藤明	菊池靖一	佐藤正弘	大森勝夫	齋藤忠一
第84号	令和5年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について	9	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
第85号	令和5年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
第86号	令和5年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
第87号	令和5年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
第88号	令和5年度大子町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○

※○＝賛成、×＝反対、—＝議長（大森勝夫議長）は採決に加わりません

反対討論〔一般会計〕

令和5年度一般会計の不用額は24億円超と衛生施設災害復旧費の19億円を除いても大きな額である。不用額を少なくすることで、様々な事業に生かされたはずである。観光関連の施設整備やイベントで多くの額が支出されているが、効果に疑問もあり検証が必要である。同時に、社会福祉などの各組織に運営補助、事業補助等で5億円以上支出されているが、町民の生活や暮らしの向上に役立っているのかも検証する必要がある。

重要施策の進ちょく状況、不用額、事実の効果、公平性、財政調整基金等の状況から見てもこの決算に問題があることは明らかであり反対を表明する。（一部抜粋）

大子町公平委員会委員に石井修さんを選任

大子町公平委員会委員の石井収さんが、令和6年11月30日で任期満了となるため、その後任として石井^{いし い おさむ}修さんを選任することに同意しました。任期は令和6年12月1日から令和10年11月30日までです。

人権擁護委員候補者に石井和恵さんを推薦

人権擁護委員の永瀬道子さんが、令和6年12月31日で任期満了となるため、その後任は石井^{いし い かず え}和恵さんが適任として決定しました。任期は令和7年1月1日から令和9年12月31日までです。

人権擁護委員候補者に清水治さんを推薦

人権擁護委員の栗山洋一さんが、令和6年12月31日で任期満了となるため、その後任は清水^{しみず おさむ}治さんが適任として決定しました。任期は令和7年1月1日から令和9年12月31日までです。

請願に対する結果報告

この請願の主旨は、児童数が少なくも一定の教職員を配置できるようにすること、きめ細かい教育をするための少人数学級の実現化、義務教育の費用を地方が負担せず国がしっかり負担するすよう求める内容のものです。

請願名	請願者	付託委員会	結 果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	水戸市笠原町 茨城教育会館2F 茨城県教職員組合 代表 井坂 功一 ほか103名	文教厚生委員会	採 択

※採択された請願は、地方自治法第99条の規定により国会及び関係省庁等に意見書を提出しました。

令和5年度歳入歳出決算の認定について

令和5年度における予算執行の歳入歳出決算の認定については、予算・決算委員会※に付託され2日間にわたり審査が行われました。審査の結果、一般会計の主な事業や特別会計・水道事業会計の決算（町長提出議案84号から第90号まで）について原案のとおり認定しました。



一般会計歳入決算

136億1861万9千円

（前年度比：4億372万1千円 3.1%UP）

一般会計歳出決算

122億1790万9千円

（前年度比：5億4769万4千円 4.7%UP）

一般会計及び特別会計の決算額は次のとおりです。

詳細については、
こちらをご覧ください。
（外部サイトヘリンク）



令和5年度 一般・特別・水道事業会計決算

会 計 別		歳入決算額	歳出決算額
一 般		136億1861万9千円	122億1790万9千円
特別会計	国民健康保険事業	23億4402万4千円	22億1009万8千円
	後期高齢者医療	2億8348万7千円	2億7330万4千円
	介護保険	27億660万3千円	24億6590万8千円
	介護サービス事業	1162万7千円	1162万7千円
	浄化槽整備事業	9417万9千円	8193万8千円
水道事業会計 総収益・総費用		4億3271万1千円	4億7410万8千円

※ 予算・決算委員会とは



町が令和5年度中におこなったすべての事業に対して、どのように予算が使われたのかを審査する委員会のことで、今後の事業執行につなげてもらうための重要な役割を担っています。

予算・決算委員会での主な質疑

一般会計決算認定 ※一部を抜粋して掲載しています。

問 「元気なまちづくりチャレンジ支援事業」の概要と採択件数は？

答 地域の課題解決を地域の方が自ら解決するというような事業内容で、申請のあった3件すべてを採択した。（「鳴り物で元気な愛宕町祭り」、「宮川地区にぎわい創出事業」、「夜の大子に明かりをともそうプロジェクト」）（まちづくり課）

問 「サテライトオフィス等進出支援事業」の概要と実績は？

答 町内の空き家や空き店舗等を整備して、新たにサテライトオフィスを開設または運営する方への支援で、令和5年度は空き店舗を食品加工業のサテライトオフィスとして整備した企業があった。（まちづくり課）

問 「地域資源を活かした水郡線活性化事業」はどんなことを行ったのか？

答 小学生等がりんごをイメージしたランタンを作成して中心市街地に設置した。また、百段階をクリスマスツリーに装飾して、りんごのイメージをさらに増勢することで、水郡線の利用促進や特産品である奥久慈りんごのPRなど、町なかへの誘客によるにぎわいづくりをおこなった。（まちづくり課）

問 「プレミアム商品券発行事業」についてどれぐらいの使用があったのか？

答 販売数は2万部で、期限を待たず9月に完売した。換金率は99.85%だった。（観光商工課）

問 道の駅奥久慈だいがでのレンタルサイクルが始まってからの利用推移は？

答 利用者は369人だった。サイズの小さいEバイクの需要が高まっている。（観光商工課）



■ 予算・決算委員長総括



予算・決算委員長
菊池 靖一

議会にとって決算審査は、自分たちが議決した予算が狙いどおりの目的を果たしているか、効率的に執行されているかなどをチェックする場です。予算書と決算書を見比べながら審議に臨み、今回も費用対効果や使われなかった不用額などについて、多くの質疑が行われました。年々質疑が活発になり、質ともに向上していると感じます。質疑に熱が入りすぎて持論が長くなることや要望が入る場面も見受けられたため、審査の趣旨から外れな

いように注意は必要です。しかし、予算・決算を委員会審査にしたことは、執行部と議論を深めて町の方向性を決める重要な機会と認識しているので、最低限のルールを守りながら活発な議論ができるよう議事進行にあたりたいと考えています。

新人議員にとっては初めての決算審査であったことから、委員会では、新人向けの勉強会を2度実施しました。委員会の質疑でも積極的に発言する努力がありこれからが頼もしく感じました。

執行部の出席者の対応や質疑終了後の議員間協議など、検討課題もあるので研究していきます。

議員と話そう会

議員と話そう会を実施する、そのわけは・・・

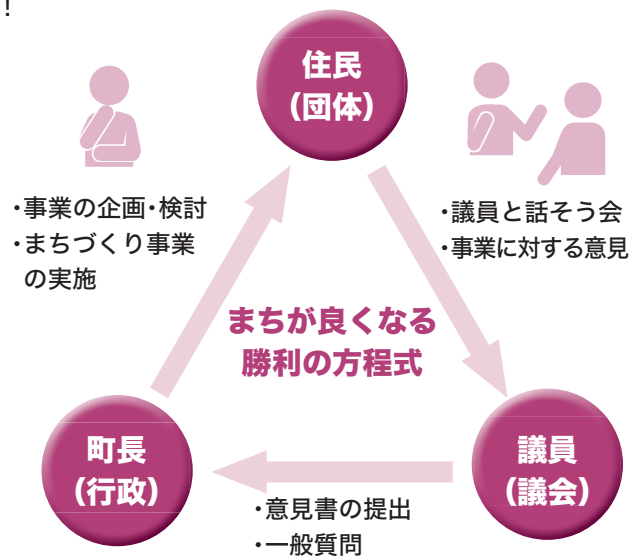
人間はテレパシーを使えません。だから、思っていることをしゃべらないと伝わりません。このことは、まちづくりに関しても同じです。「こういうところが不便」とか「こうすればもっとよくなるのに」を口にするだけで、はじめて周りの人が気づいてくれます。

いろんな立場の人が、いろんな角度から太子町を見渡して「いいところ」と「残念なところ」を出し合う。それが議員と話そう会の一番のねらいです！

団体の皆さんから出た意見を基に議員同士で話し合います。緊急性や実現性、費用に対する効果などを精査して、その結果を「意見書」として町長に提出。また、一般質問で事業としての可能性などを確認したりもします。

実際に、議員と話そう会によって高校生の想いが形になった事業もあります。

議員がまちづくりの事業を行うことはできません。だから、より多くの皆さんの「こうしたほうがいい」を聞いて、上手く町長に伝えることが議員の役割であり、町をもっと住みやすくするための第一歩が「議員と話そう会」です！



① 農業委員会委員との話そう会（意見交換会）

【開催日】 7月11日（木）

【参加者】 農業委員 10名

農業利用最適化推進委員 8名 議員 11名

【テーマ】

- (1) 水田の用排水管理の合理化
- (2) 地域おこし協力隊の活用
- (3) 暑さ対策、スマート農業の導入
- (4) 地域計画の策定
- (5) 鳥獣被害対策
- (6) 改正農業基本法の概要

議員の声 話そう会（意見交換会）を実施したことで、太子町の「農業事情」を再認識することができました。

深刻化する担い手不足に対し、未来の地域農地を守っていくための「地域計画」を策定することや、近年の猛暑による暑さ対策、スマート農業の導入など、変わりゆく農業のこれからを聞くことができました。

私たち議員が学ぶ立場で意見交換できたのは非常に有意義でした。

農業委員会とは

農地に関する事務を執行する行政委員会として、各市町村に設置されています。農地法に基づく農地の売買や賃借の許可、転用等の申請届出についての審議を月1回開催しています。現在の人数は、

- 農業委員12名
- 農地利用最適化推進委員16名



② 移住者との話そう会

【開催日】9月21日（土）

【参加者】移住者17名 議員9名

【主 体】大子町観光協会（だいで暮らし・空き家バンク
相談センター）

【テーマ】「5年後～10年後の大子町のあるべき姿に
向けて」



参加者からこんな意見がありました！（一部抜粋）

- 町の至るところにある空き家と里山が相まって魅力的である。
- 交流拠点施設がオープンしたが、公共施設であっても独自に収入を得られる仕組みがないと今後の維持運営が困難になるのでは。
- 袋田の滝のトンネル利用料金を値上げしてはどうか。
- 移住者の中には、専門の技術を持ってる人もたくさんいるので、人材を活用してみてもどうか。

議員の声

今回参加された移住者の中には、他の自治体にもたくさん足を運び、たくさんの物件を見た中で大子町に決めた方が多数いました。「魅力」と感じてくれた部分をさらに磨き上げることで、大子町の人口増加に繋がる新しい施策が見いだせるのではないかと思います。

③ 黒沢地区女性の会との話そう会

【開催日】9月30日（月）

【参加者】地区民39名※ 議員10名

※下記の地域団体の皆さんにも参加いただきました。

- ・大子地区防犯協会黒沢支部 ・黒沢交流委員会
- ・青少年育成町民会議黒沢地区会議 ・各地区区長
- ・上野宮第一長寿会 ・上郷長寿会 ・中郷みのり会

【テーマ】「女性から見た魅力的な町とは」



参加者からこんな意見がありました！（一部抜粋）

- 交流拠点施設は午後9時まで営業しているが、まいんの駐車場は午後8時で閉鎖してしまうので、残りの1時間はどうするべきか。
- ボランティアで草刈りではなくて、有料でいいので草刈りをやってほしい。
- 全世代が関われるコミュニティが希薄になった。
- ルネサンス高校が旧黒沢小学校に移転してきて、灯りのついたことがうれしい。中学校閉校後空き校舎が増えるが対策をしてほしい。
- 医療関連の無料化や補助制度は、他の市町村と比べてすごく充実していて魅力的だ。

議員の声

「女性から見た魅力的な町とは」というテーマでしたが、さまざまな団体の方が出席されていたので、より多くの意見を聞くことができました。高齢化による草刈りなどの大変さを改めて地域の深刻な悩みとして受け止めました。

④ 太子清流高校生との話そう会

【開催日】10月4日（金）

【参加者】総合学科2年A組30名 議員11名

【テーマ】「太子町の課題の解決のためにできること」



太子清流高校生の話そう会は、A～Eの5グループに分かれて行いました。私たち議員もそれぞれのグループに入って参加しましたが、高校生の考える「太子町の課題解決策」を上手く引き出してあげることとはできたのでしょうか？！

最後にまとめた結果をグループごとに発表してもらいました！（下記は一部抜粋したものです）

課 題

・夜が暗い・水害が多い・逆走車が多い・若い人が少ない（20代前半）・少子高齢化・過疎化・遊ぶ場所が少ない・道路などのインフラが乏しい・交通面が悪い・希望の職種がない・山を大切にしているのはいいけど多すぎる・水郡線がなくなっちゃうのでは・空き家が多い・広い世代が楽しめるものがない、など

解決策

- ・太子町に帰りたくなるようなまちづくり（支援）
- ・太子町の魅力を発信していく
- ・戻って来た時に太子町のためなることをする
- ・空き家を活用していろんなジャンルのお店を開く
- ・チェーン店を増やす（スタバ、マック、百円ショップなど）
- ・花火大会を再開する
- ・魅力を増やし人口を増やす
- ・山を利用した施設を作る（例：サバゲーフィールド、ジップライン、マウンテンバイク）、など

高校生にできる解決策

- ・空き家を利用したe-sportsイベントなどの開催
- ・太子町の魅力をSNSなどで発信（自分たち若者の意見を責任持って発信することで大人を動かし、自分たちも住みたくなる町にしていけることが必要！）

議員の声

上手く引き出すことができました！

常任委員会合同研修視察の概要

8日6日に常任委員会合同研修視察を実施しました。

今回の訪問先は、栃木県大田原市にある「那須赤十字病院」と、同じく大田原市にある「一般社団法人えんがお」が運営する施設です。

「那須赤十字病院」では、地域の医療のあり方やかかりつけ医との連携などについて、院長の井上先生からお話を伺いました。また「一般社団法人えんがお」では、「孤立」という社会問題の予防と解消を目指した濱野代表理事の活動理念や団体立ち上げの経緯などを伺いました。今回の研修には11名（議員9名、議会事務局職員2名）が参加しました。

■ 那須赤十字病院の役割

那須赤十字病院は「急性期病院」です。

急性期病院とは、救急車などで搬送される緊急・重傷の患者や、地域の医療機関からの紹介患者に対し、高度な専門医療を行う病院です。

かかりつけ医など住まいの近くの病院から緊急、重傷の患者を受入れる体制づくりを推進するために、「太子町の病院にも定期的に訪問して地域医療の連携を図っている」とのことでした。また、『太子町は医療圏』という考えのもと「コロナの時は太子町の患者さんを（栃木）県内扱いとして対応した」というお話も伺いました。



■ 「かかりつけ医」を持つメリット

1. 健康状態を知ってもらえる
2. 症状に応じた大病院を紹介してもらえる
3. 病気の予防や早期発見・早期治療にもつながる

■ 「かかりつけ医」とは

1. 健康に関することを何でも相談できる
2. 必要な時は専門の医師・医療機関を紹介してくれる
3. 身近（地元や近くの病院）で頼りになる医師



**安心の
連携サポート**

- ・専門検査や治療
- ・患者さんを紹介

地域連携

- ・患者さんの状態が安定
- ・患者さんの診察をお願い



かかりつけ医

（地元や近くの病院）



「かかりつけ医」についての詳細は、那須赤十字病院のホームページでご覧いただけます。



那須赤十字病院

かかりつけ医をもちましよう

■一般社団法人「えんがお」とは

「人との繋がり希薄化」から生じる「孤独」と「孤立」に向き合い続け、ゆるやかに繋がり、みんなでお互いを支え合っていく、そんな地域のコミュニティ運営に携わっている団体です。地域の外から来た人も自然にコミュニティに入れて、みんなで緩やかに繋がって、なんとかしていく。『えんがおは、子どもから高齢者、そして障がいの有無に関わらず全ての人が日常的に関わる「ごちゃまぜ」の力で、あらゆる社会課題の予防と解消を目指している』とのこと。



これは、私たち議員の想像を超えた地域コミュニティの形で、一見、次世代型のコミュニティとも考えられますが、実は時代を逆行した昔ながらのコミュニティの形であるようにも感じました。

これ以上言葉で伝えるのは難しいかもしれませんので、詳細はえんがおホームページにある「動画で見るえんがお」の皆さんの笑顔を見てご理解ください。

(皆さん素敵な笑顔です！)



一般社団法人えんがお HP

下のイラストは、一般社団法人えんがお（以降は「えんがお」といいます。）のおこなっている「コミュニティ」のイメージです。

「グループホーム」も「こども園」も「地域食堂」も「地域サロン」も「シェアハウス」も、すべてえんがおが運営している施設です。これらの日常的に関わるたくさんの人の力、いわゆる「ごちゃまぜの力」によって社会課題の予防と解消に向けた「コミュニティ」が形成されています。



「出典：一般社団法人えんがおホームページ」

■議員の視察研修レポート

視察研修に参加した議員の感想などを紹介します。

那須赤十字病院を視察して〔高村 和成〕

地方と都会の医療格差の現状

まず理解しておかなければならないことは、地方と都会では大きな医療格差が生じている状況である。都会では、病院数・交通面で整備が進んでいるため、手遅れになる前に処置を受けることができる。一方、地方は病院数、交通面、少数人口から適切な処置を受けることが容易ではない状況にあることを再認識した。



人口が少ない地域こそ、個々の健康に対する意識向上が必須

都市部病院と連携が図られていても、距離などの問題から処置が遅れる場合がある。そのため、定期的な健康診断を積極的に行い、健康意識を高める必要がある。

説明の中で、那須赤十字病院では「大子町で健康講座を実施する場合は協力したい」という心強い言葉をいただいた。

地方と近隣都市部の連携が必須

医療格差を少しでも小さくするため、近隣都市の病院との連携が必須になる。那須赤十字病院では、大子町も診療エリアの対象にしており、急患等の受入れ体制も準備されている。

一般社団法人「えんがお」を視察して〔介川 秀男〕

一般社団法人えんがおを視察して、地域の住民の方々が周りの人との関わりが薄くなってしまい、孤立してしまう現代の状況を何とかしたいという思いが活動の原点だと聞き、その通りであると感じた。また、お年寄りの方だけではなく若者世代、子ども世代にも手を差し伸べていて、各世代のさま



ざまな人が同時に関わり合うことが、お互いが支援者となり支えあえるのだと感じた。一人暮らしのお年寄りの方にとっては、こういった関わりが病気予防にもなっていて素晴らしいと感じた。以前であれば各世代がそろっていて、何かあっても普通に、自然にまわりが声をかけたり、助けてあげることも対応できていたのが、今ではとてもきびしい状況である。この現状に目をそむけずに、大切で重大なことであるとならえ、今後の私自身の活動に生かしていきたい。

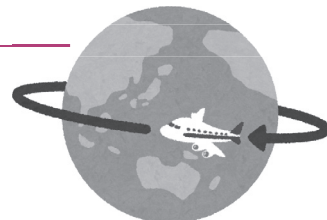
議員の活動報告します！

8月、9月、10月の議員活動の一部を報告します。

- | | |
|-----|---|
| 8月 | <ul style="list-style-type: none">・議会だより NO.218号 発行（広報委員会）・常任委員会合同研修会（総務経済委員会・文教厚生委員会）・定例全員協議会（全議員）・議会運営委員会及び全員協議会（議会運営委員・全議員） |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none">・第3回定例会（9月4日から13日まで）・決算審査（予算・決算委員会）・太子町観光協会「だいで暮らし空き家バンク相談センター」との議員と話そう会（各議員） |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none">・町村議会広報研修会（広報委員会）・黒沢地区女性の会との議員と話そう会（各議員）・兵庫県播磨町議会来庁（議長・菊池議員）・太子清流高校生との議員と話そう会（全議員）・定例全員協議会（全議員）・静岡県小山町議会来庁（議長）・第47回全国育樹祭（林活議連会長）・太子町中学生海外語学研修現地調査（各議員） |

連載

■つぶやき議長



議長として、町民として、一個人として、気の向くまま、想いのまま、今日もつぶやきます

鉄は熱いうちに打て

大森 勝夫

若いうちに覚えたことは一生身につくぞ。中学生のころ、先生によく言われた。熱心に覚えたわけでもないのに、徒然草や枕草子の冒頭がなんとなく思い浮かぶのは、それを証明しているのかも知れません。

高校時代の山岳部の顧問は、カナダのマッキンリー登山を経験し「海外に行って痛感した、世界を知るのが遅かった。お前たちは少しでも若いうちに海外を経験しろ。十代のうちが良い。若いほどたくさん吸収できるから。」というのが口癖でした。当時は昭和の時代。原付バイクすら乗ることを許されず、生活圏が狭かった私にとって、海外へ行く行為は、まるで他の惑星に行くことのように、想像すらできませんでした。

あれから四十年。幾つかの国々を訪れる経験

はしてきたが、語学力の不甲斐なさを痛感するばかり。山岳部の顧問の「英語は学問じゃないぞ。世界中、誰でもしゃべっているじゃないか。英文学になれば学問だ。」という口癖が聞こえてくる。

中学時代に英語圏での体験ができたなら、その後の英語学習への意欲はどう変わっていただろうか。勉強としてではなく「楽器が演奏できるようになりたい」とおなじ熱意で、英語を学んだかもしれない。

太子町の中学校統合を機に、中学生の海外語学研修を検討している。大規模校では不可能な英語教育に、太子町は挑もうとしている。貴重な経験を与えられた中学生は、必ずや郷土愛にあふれた若者として育ち、町の様々な分野で躍動してくれるだろう。

ピックアップ

■町村議会広報研修会

9月25日、全国町村議会議長会主催による「広報研修会」が東京都港区（ニッショーホール）で開催されました。

この研修会は、議会広報の発展に資することを目的に開催されたもので、議会広報を担当する議員が全国から参加しました。

大子町議会からは広報委員7名が出席して、「読まれる広報紙の作り方」などを学びました。



研修会に参加した広報委員

■退職議員に感謝状を贈呈

8月8日、大子町議会を3月に退職された議員に対して町から感謝状が贈呈されました。贈呈式に出席された3名の方には、高梨町長から感謝状が手渡されました。

野内 健一 元議員（平成16年～ 5期20年）

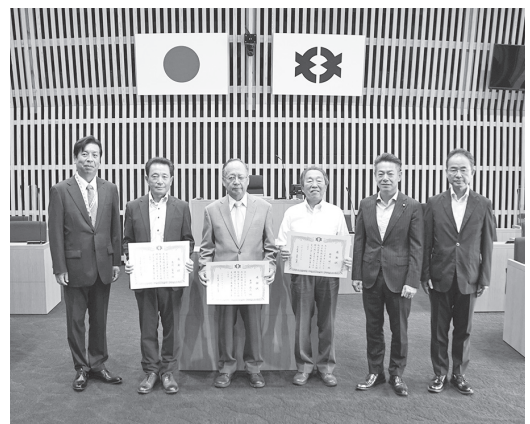
鈴木 陸郎 元議員（平成20年～ 4期16年）

金澤 真人 元議員（平成20年～ 4期16年）

中郡 一彦 元議員（平成24年～ 3期12年）

菊池 富也 元議員（平成28年～ 2期8年）

※1人は本人の希望により辞退。



長い間お疲れ様でした

■注目される大子町！（行政視察）

茨城県外の町議会からお問い合わせいただき行政視察を受け入れました。

当日は、大森議長や前議長の菊池議員が出席して歓迎のあいさつや説明を行いました。

7月から10月までの間に3町の議会議員の方々にご訪問いただきましたので紹介します。

なめがわまち ○埼玉県滑川町議会

（総務経済建設常任委員会、文教厚生常任委員会）

15名

【視察概要】

・森林環境譲与税の活用とまちづくりについて



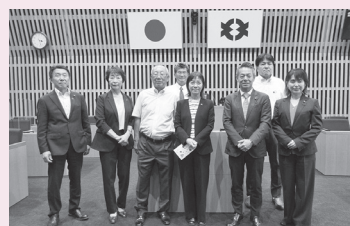
はりまちょう ○兵庫県播磨町議会

（会派：チーム新星、政風会）

6名

【視察概要】

・議員報酬改定の経緯



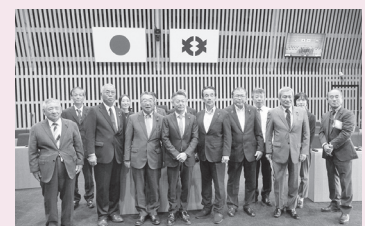
おやまちょう ○静岡県小山町議会

（議会運営委員会、総務建設委員会、文教厚生委員会）

15名

【視察概要】

・木造新庁舎について



あん議^{とき}会の質問は今？！

今まで議会で質問してきた事業が、その後どのように行われているか、現在の状況をお知らせするコーナーです。

今回は、役場庁舎に設置してある「思いやり駐車場」です。この駐車場に関する一般質問が令和4年第4回定例会でありました。その時の答弁は次のとおりでした。

【あん議^{とき}会の質問】

議員：思いやり駐車場から庁舎入口までの間に花壇があるため、遠回りしなければならない。降りたらすぐに庁舎へ入れるような動線があってもよいのではないか。花壇はなくてもよいのではないか。

【その時の回答】

執行部：現在は、コロナ禍のため行政棟中央の入口を閉鎖している。感染症拡大防止のためなのでご理解いただきたい。植栽はペダルの踏み違えによる高齢者の事故が多いことから意図的に設計したものである。少し歩く距離は長くなるが、町民の皆さんにはご理解いただきたい。

コロナ禍の時を経て、令和6年10月に一部の花壇が撤去され、思いやり駐車場がもっと利用しやすくなりました！！

【改善前】



【改善後】



メインの庁舎入口に近いほうの花壇が撤去され、歩く距離が短くなりました。

重要

駐車場が改善されたことで便利になりました。しかし、花壇がなくなったことで大事故につながりやすくなりました。



みなさん、**安全運転** を心がけてくださいね！

令和6年第3回定例会

町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

7名の議員が一般質問!!

質 問 内 容	ページ	質 問 者
茨城交通路線バスの運行は	P17	介川 秀男 議員
町の可燃ゴミの回収回数の基準は		
带状疱疹ワクチン接種事業助成拡充は		
鼻腔に投与するインフルエンザワクチンへの補助は	P18	福田 祥江 議員
教育支援センターでの給食提供は		
防災訓練での要配慮者への対応の課題は		
森林環境譲与税の活用は	P19	飯村 剛 議員
林業の将来を見据えた担い手確保を		
八溝山の景観対策は	P20	佐藤 正弘 議員
ポナイの森斜面の除草は		
行政連絡班の活動について		
二拠点生活について	P21	川井 正人 議員
地方型ライドシェアの導入は	P22	高村 和成 議員
大子町の環境に適した企業誘致は		
救急搬送における取扱い	P23	根本 厚子 議員
袋田の滝の湧水問題は		

一般質問とは・・・



定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進ちょく状況、将来における施策方針等をたずねます。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問をたずねることはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をすることも、議員の重要な権限です。

おうちで議会を視聴しよう！

大子町議会は、スマートフォンで議会の様子を見ることができます。定例会や臨時会の様子を生中継するとともに、録画配信も行っていますので、是非ご覧になってください。

※一般質問者ページのQRコードから、質問者を検索することもできます。



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから





町路線バス停留所

〔介川〕 町の茨城交通路線バスの運行状況であるが、乗客が少ない時も見受けられる。町の考えを伺う。



介川秀男 議員

〔まちづくり課長〕 茨城交通路線バスは平成23年度で年間約17万7千人、平成26年度で約10万人の利用者があった。令和5年度では約4万6千人の方が利用して、多くは通学利用である。平成23年当時と比較して当時も一部通学利用はあったが一般利用が多い状況であった。また、観光利用が多い地域の路線は令和4年度

問 茨城交通路線バスの運行は
答 ニーズに合った運行を計画していく



の利用者数は約8千人、令和5年度利用者数は約1万人と、約1・3倍に増加している。町においては利用者の求めている姿にに応じてさまざまな選択ができるよう、タクシー利用助成事業、A乗合タクシー、路線バスと選択肢の多い交通網をつくり交通利便の向上を進めている。今後も時代が求めている姿に合わせた柔軟な対応を検討していく。

〔介川〕 現在のA乗合タクシーの利用状況を伺う。

〔まちづくり課長〕 A乗合タクシーは運行が始まってから3年がたち、現在利用登録者は月に約70人程のペースで増加していて、来年度には3500人に達して、単純に数字だけを見ると町人口の約24%相当となる見込みである。これ

らのことから利用率も徐々に上がってきていると見ている。

〔町長〕 路線バスに関して維持すべき大切なものもある。一気に路線バスを減らしてしまうと不具合も想定され、利用率の高い路線、利用率の低い路線をしっかりと見極め、柔軟に対応していく。

町の可燃ゴミの回収回数基準は

〔介川〕 町の可燃ゴミの回収回数が、週に1回の地域と週に2回の地域とがあるが、その回収回数の基準を伺う。

〔生活環境課長〕 すべての地域で週1回の収集が基本ではあるが住宅、店舗が密集している地域ではゴミ集積所の整備が難しく、また、主要観光施設地域でも景観や環境美化への配慮から週



町指定燃えるごみ専用袋

2回の収集となっている。

带状疱疹ワクチン接種事業助成拡充は

〔介川〕 带状疱疹ワクチン接種申請者数の報告があった。町として申請者数の目標があればその達成状況を伺う。

〔健康増進課長〕 ワクチン接種費用が高額であり、高齢者の費用負担軽減目的として実施しているものであり、予防接種法に基づかない任意のものであるため目標設定はしていない。

問 鼻腔に投与するインフルエンザワクチンへの補助は

答 新しいワクチンについても助成をしていく



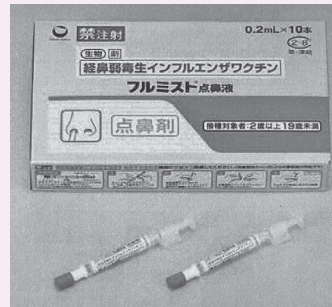
福田祥江 議員

【福田】 9月下旬に、注射ではなく鼻の穴に噴霧するインフルエンザワクチンが発売になる。対象年齢は2歳から18歳なので、注射に抵抗を示す子どもたちに活用できると思われる。このワクチンを補助の対象にするのか。

【健康増進課長】 町内医療機関との協議は必要だが、新しいインフルエンザワクチンについても助成をしていくつもりである。

【福田】 補助の金額は。

【健康増進課長】 子育て支



鼻腔に噴霧するインフルエンザワクチン

援の施策でもあるので、できるだけ保護者の費用負担が生じないように検討したい。

【福田】 いつから始める事ができるのか。

【町長】 流通状況などを注視しながら、今年度中に対応したい。

教育支援センターでの給食提供は

【福田】 何らかの理由で配慮が必要な子どもたちがいる。このような子どもたちが

にも公平に支援が受けられる体制が必要であると考え。町では文化福祉センターまいんにおいて条例では文化ホール内の飲食を禁止しているが、今年度より7月から9月に関しては熱中症対策のために飲水を可能にするという柔軟な対応をしている。教育支援センターは条例施行規則で「昼食は持参するものとする」とされているが、通室する子どもにも給食を提供できないか。

【教育委員会事務局長】 配送には課題がある。通室者が学校に移動できれば別室で給食を食べることが可能である。その際は通室者の学校への登校を強制することがないように配慮すること。教育支援センターで給食をとるための方法については

研究していきたい。

防災訓練での要配慮者への対応の課題は

【福田】 7月20日に大子町防災訓練を行っているが、要配慮者への対応での課題を伺う。

【総務課長】 初めて避難行動要支援者の避難支援訓練を計画し、支援の情報伝達系統および支援手順を確認しながら訓練を行った。課題の1つ目は、膨大な災害対応業務が発生する中で迅速な対応が求められるため、対応職員の確保・体制構築が求められるが、町職員の到達には時間を要するとい

う事。自主防災会や防災士などと連携を取ることで、早い段階での要支援者の避難に繋げたい。2つ目は、避難先での要支援者の体調管理や避難生活の介助などが必要とされるため、専門知識を有する人の協力が必要となる事。今後、地域への働きかけ、町内事業者への協力要請など、町全体で要支援者の支援体制を考え、有事の際には迅速に支援活動できる体制づくりに努めていく。

【福田】 防災訓練全体の反省点、改善すべき点は。

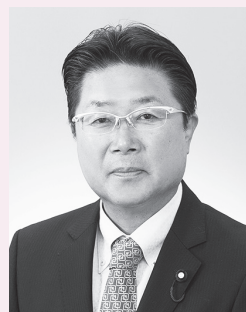
【総務課長】 避難者が殺到した時間帯では、受付事務が円滑に進まず、本部との交信に余裕がなかった。猛暑の中の訓練で暑さ対策が不十分であった。断水を想定した仮設トイレなどの使用について訓練で実施する必要があった。感染症対策のため手指消毒液を設置した方がよい。これらの反省点があった。今後状況を精査し改善をしていきたい。



大子町防災訓練（災害対策本部の様子）

問 森林環境譲与税の活用は

答 森林整備を中心に取組を推進



飯村 剛 議員

【飯村】「身近なみどり整備推進事業」の適用条件と管理支援は。

【農林課長】 民有林であり転用禁止、面積は0・05ヘクタール以上であること。維持管理活動費（一人、一日2500円、年2日間）

【飯村】適地に、東屋やベンチなどを設置しては。

【農林課長】 遊歩道、ベンチ、巣箱など可能。構築物は費用対効果も踏まえ検討

が必要と考える。

【飯村】「インフラ等周辺森林整備」の事業計画の概要と補助内容は。

【農林課長】 倒木などで人家や電線、道路などに支障の可能性がある森林の伐採に要する費用補助を行う。経費の半分を町が負担（上限30万円）。

【飯村】補助額以上に費用が掛かる事業はいずれ対処するのか。

【農林課長】 要望の際には、身近なみどり整備推進事業の並行した案内を行いながら検討したい。

林業の将来を見据えた担い手確保を

【飯村】全国公募の（清流高校）「地域みらい留学制度」の実績状況については。

【教育委員会事務局長】 昨年、今年度に各1名入学。8月に東京で開催された説明会（全国80校参加）では、清流高校ブースに訪れた方々は他県と比較して非常に多い状況であった。今後も積極的に促進を展開し

ていく。

【飯村】林業に興味を持った移住希望者の関心を深める支援事業があるが、情報の提供については。

【農林課長】 林業就業移住支援金制度では、ホームページ、今年度から大手求人サイトで広報している。

【飯村】町施設に地元産材の活用が進んだ。今後の取組は。

【農林課長】 これまで新庁舎、交流拠点施設や茶の里公園内の遊具など。今後も、公共施設や学校関係の整備に有効活用していく。

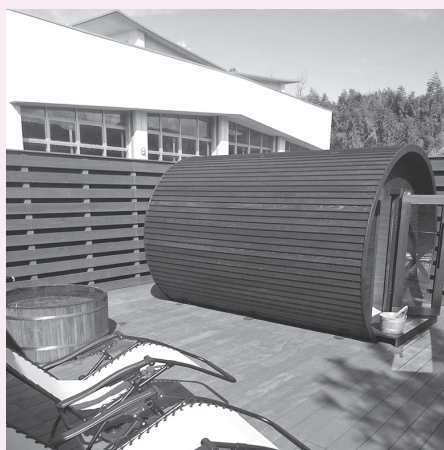
【飯村】やみぞホテルのバレルサウナ導入による向上効果については。

【観光商工課長】 自然の中、プライベート空間で、町産材ヒノキの良い香り、木目の美しさなど好評、SNS映えによる層の広がりを見せている。施設全体のレベルアップに繋がった。今後は既存の屋内サウナの改修を予定している。

【農林課長】 リモートセンシング技術（航空写真）を活用して調査の加速化を進めていく。



森林環境づくりとして整備すれば誘客に繋がる（写真 大神宮山）



自然を満喫しながらリッチな空間が味わえる（町産材を使用したバレルサウナ）

問 八溝山の景観対策は

答 直ちに対処できる余地はない



佐藤正弘 議員

【佐藤】 八溝山は県下で最高峰を誇り、八溝山への観光客の多くは、頂上からの景観、また、夏は涼を求めて登っている。展望台の入口には「マナーを守り、山頂からの福島県、関東一円の大パノラマをお楽しみください。八溝保勝会」という看板が置かれている。その景観、眺望が年々悪化し、苦情も寄せられている。特に、福島県側と八溝峰神社の樹林が景観を妨げている。八溝山の景観対策はどの様になっているのか。



樹木によって福島県側の景観が妨げられている

をいだいている。茨城県側については、土地の所有者の意向を考慮する必要があると考えている。以上のことから、八溝山の景観対策については、町として直ち

【観光商工課長】 福島県側については、所管の森林管理署に数度出向き話をして

いる。国有林における自然保護の観点から、伐採などは非常に困難といった回答

に対応できる余地がないという状況である。

【佐藤】 八溝山定住自立圏に参加する自治体は、いずれも八溝山との関係が深く、八溝の名を取った事業者や産業、食品など多く見られる。大子町単独で難しいなら定住自立圏に協力を求めて進めてはどうか。

【観光商工課長】 費用対効果や県をまたいだ複数の自治体の方向合わせ、また、野鳥の会、自然保護団体への説明、他の樹木に与える影響、測量などを大子町の予算を用いて行う必要がある。効果も検討し、取組を進めるか否か判断することになるが、もっと観光客を誘客できる八溝山定住自立圏の連携を図っていききたいと今は考えている。

ポナイの森斜面の除草は

【佐藤】 町は、「全方位・アウトドア自然基地大子町」をスローガンに誘客活動を進めている。ポナイの森、入口斜面の除草は、これまでも議会で取り上げられてきている。どのような対策を行っているのか。

【観光商工課長】 現在、マウンテンバイクコースの整備計画を進め、基本構想を策定したところである。今後、マウンテンバイクのコースの整備や森林アドベンチャーの整備を進めていく中で、除草及び伐採作業を行う可能性がある。

【佐藤】 除草の可能性があると答弁したが、斜面の所

は可能性だけなのか。

【観光商工課長】 整備にあたっては、斜面を活用することも考えている。その際、除草、木の伐採も視野に入っているところである。

行政連絡班の活動について

【佐藤】 高齢化にともない、回覧板を回すことや各種団体の会費等の徴収、自治会の独自の活動、町提起の取組など困難な自治会もある。現状と対策はどの様になっているのか。

【総務課長】 町には、66の行政区と538の行政連絡班が位置付けされている。高齢などにより、今までの活動に比べて課題が出てきている地域もあると認識している。負担軽減を行い、今後とも体制を維持していくことが重要であると考えている。支援していきたいと考えている。



行政連絡班を回す回覧板

問 二拠点生活について

答 支援策もしっかり捉えていく



川井正人 議員

【川井】 移住者の現状はどの世代が多いのか、また、若い世代や子育て世代の数、割合を伺う。

【まちづくり課長】 令和2年度から令和5年度にかけて空き家バンク制度を活用し48世帯、82人が移住。二地域居住は15世帯。移住者の世代別の割合は50代以上が58%、30代以下が15世帯で全体の31%。子育て世代は2世帯で4・2%という状況。

【川井】 令和7年度から中学校は1つになる。新生児

の出生数は、令和元年が49人、2年43人、3年42人、4年38人、5年が23人という状況。学校を維持することが危ぶまれる状況が迫っている。子供たちを増やす施策に注力し、若い世代、子育て世代の移住に絞って投資するのが必要で合理的と思うが、町の考えを伺う。

【まちづくり課長】 町は結婚や新婚世帯への支援、い

ばらき出会いサポートセンターへの登録料の助成、新婚世帯への住居費等の補助のほか、妊産婦や高校生までの医療費の無料化、新生児すくすく祝い金の支給、新築住宅の建設費の補助、子育て支援住宅の整備等、様々な支援を行っている。ターゲットを絞って投資することはより効果的な取組が可能と考えるが、世

代に合わせた幅広い支援を行うことで町の魅力を高めたいと考えている。

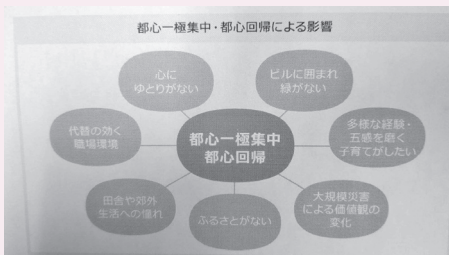
【川井】 二拠点生活は若い世代、子育て世代が注目している生活スタイルで、現在の仕事を変えずに新しい地域での生活をスタートできる。完全移住よりハードルが低く、移住に興味がある方はチャレンジしやすい。二拠点生活から徐々に完全移住へと移行する可能性も

議員と話し合う会（移住者交流会編） 【移住と町議会】

《第5回移住者交流会 メインテーマ》
5年後～10年後の犬子町のあるべき姿に向けて
令和6年9月21日（土）15:00～17:30
犬子町文化福祉会館（まいん） 観光交流ホール
犬子町は選ばれている



趣味で楽しむ二拠点生活



二拠点生活を求める理由

は移住者獲得にまずは注力する。一定の移住促進が図られた際には、次の取組の候補の一つとして参考にしたと考える。

見込める。町の二拠点生活に対する施策の現状を伺う。

【まちづくり課長】 テレビワークが普及し特に若い世代の方に地方移住や二地域居住への関心が高まっていると認識している。住所の移転等一定の条件を満たす必要があるが、わくわく茨城生活実現事業として移住支援金を支給している。支給額は単身で60万円、2人以上の世帯では100万円、18歳未満の世帯がいる場合はさらに1人につき最大100万円が加算される。住所移転を伴わない二地域居住に対する支援について、現時点では整備されていない状況。

【川井】 週末田舎暮らしに對して、逆に週末都会暮らしが増えている。住むのは自然の中そして自分の都合に合わせて都会に遊びに行く。犬子町で暮らしている子育て世代やその予備軍、若い世代にとって、週末都会暮らしを応援する交通費や宿泊費等の助成制度があれば犬子町に住んで暮らす魅力につながると思うが、町の考えを伺う。

【まちづくり課長】 生活スタイルの多様化により、平日は豊かな自然の中で暮らし、週末は都会で暮らしという生活がある。町として

問 地方型ライドシェアの導入は

答 制度の動向に注視した上で検討する



高村和成 議員

ムの移行を10月1日に計画しており、新しいシステムとして、バスワード設定の簡素化が図られる予定である。

【高村】現在、町内のAIタクシーは増車も実施され多くの町民が利用している。しかし、これには専属の運転手が必要であるため、昨今の人材不足、高齢化の影響で今後の更なる増車は限界があり、夜間などの時間帯でも人員の配置がむずかしいのではと考える。そこで、利用幅を拡充させる一つの手段として、近年話題の「地方版ライドシェア」を導入してみてもどうか。

【高村】年々利用者が増え続けている町内のAIタクシーだが、先日利用者増から3台の車両増車が実施された。それと同時に改善点も増えていくと思われる。前回でも質問をした利便性の向上、予約システムの改修などの進ちよく状況は。

【まちづくり課長】今回増

車した車両のなかで、14人乗りのおおきい車両が導入されている。これにより、多くの方が乗り合いで利用できるため利便性が向上している。また、予約システ



増車した14人乗りのAIタクシー

【まちづくり課長】ライドシェアは国土交通省が指定する地域で個人の自家用車を活用した新しい配車システムである。また、茨城県内の動向だが、7市町村が対象地域として指定され8事業者が運行している。大子町で運行するには国の指定を受ける必要がある。また、個人の自家用車をタクシーとして使用するため、運転手の育成や運行管理体制について慎重に議論する必要がある。大子町としても将来的には運転手不足によりライドシェアの必要性が高まると想定しているが、国の制度の動向を注視した



スマート林業で活躍するドローン



現代の新型ハーベスタ

うえで大子町に適した公共交通手段を検討していききたい。

大子町の環境に適した企業誘致は

【高村】現在、どの自治体も企業誘致は町全体の活性化には必要不可欠なものである。最近では、国策ではあるが、熊本県に設立された半導体メーカーのTSMCにより移住者が増え様々な業種の企業に大きな経済効果を与えている。新しい企業誘致として、大企業ではなくベンチャー企業など先端技術系の誘致をしてみてもどうか。また、例をあげ

か。

【まちづくり課長】大子町ではインフラの整備に力を注いで、総合的に多種多様な事業と並行しながら誘致を行うところである。現在はサテライトオフィスや空き家、空き店舗の活用も兼ねた誘致を行っている。また、現在は林業などを生かした企業誘致の検討はしていない状況であるが、森林面積8割を有する大子町には新たなビジネスチャンスにつながるものと考えている。今後は茨城県主催のビジネスマッチングなどにも参加し、従来の取組を継続しつつ新たな企業誘致にも挑戦していきたい。

ると大子町は林業が盛んであるため、これに関した機械メーカーや研究企業を誘致できない

問 救急搬送における取扱い

答 県で準備を進めている



根本厚子 議員

今年見直しが進められている内容は、茨城県における救急搬送車が、6割以上大病院に集中している。まずはかかりつけ医や地域の診療所を受診し、必要な場合



迷った場合は「茨城県救急電話相談」をご利用ください

【根本】「選定療養費」は、平成28年から紹介状を持たずに大病院を受診する場合は、一定の負担を患者に求めることが義務化されている。今年12月1日から運用見直しが予定されているが、制度の内容を伺う。

【消防長】一部の大病院に外来患者が集中し、待ち時間や勤務医の外来負担の課題解消のため紹介状なしで受診した患者に対し徴収が義務化されている。しかし緊急その他特別な事情の場合は、定額負担を求めない。

は大病院へ紹介し、医療機関の機能分担、相互連携を推進する目的で、緊急性が認められない場合は対象となる医療機関に、7700円以上の徴収となる。



【根本】 大子町消防署へ電話し相談はできるか。

【消防長】 119番は、いばらき指令センターにつながり、大子町消防本部で相談は可能だが、できるだけ救急医療電話相談へお願いしたい。

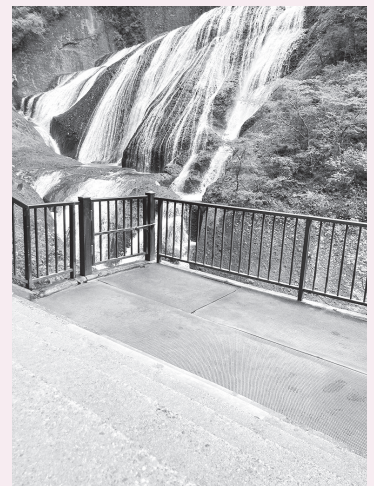
【根本】 今後大子町に住む私たちが救急車を呼ぶ場合注意することは何か。

【消防長】 判断がつかず救急車を呼ぶべきか迷った場合は、24時間365日対応茨城県救急電話相談番号大人数7119番、対象者が子供15歳未満#8000番をご利用してほしい。

袋田の滝の渇水問題は

【根本】 袋田の滝は、茨城県北奥久慈を代表する観光

地で山や川、食や温泉を活用し訪れる方や事業者や町民にとって実りある観光地を目指し、得られた収益を地域内へ還元、循環させて経済活性化や文化、環境の保全再生を図っていくことが大切である。季節によって水量が少なくトンネル入場料金をいただきながら申し訳なく思う。渇水問題について伺う。



袋田の滝施設のバリアフリー化を期待する

【観光商工課長】 対策として上流に植栽、ダム建設調整池が考えられるが高額になる。滝周辺の開発行為は様々な制限がかかる。施策として四度の滝の水量の違いによる四季の良さを広報する。

【根本】 滝の水質検査は、問題なく年3回2か所で町が検査しているが、滝の水は、4本の川と沢が合流しているのに何故2か所なのか伺う。

【生活環境課長】 検査場所は小生瀬地区京塚の滝川と大塩2か所で異常がある時は、調査地点を増やすことは当然だが、今は、悪化の要因は確認されていないので増やす予定はない。

【根本】 12月から吊り橋大改修工事観光振興基金よ5000万円の予算で行うが、イメージアップと誘客事業として料金所から吊り橋間をバリアフリー化の検討ができないか。

【観光商工課長】 落石防止フェンスが設置され道幅も狭いため困難である。全国的に見ても袋田の滝は、バリアフリー化に一定程度対応している。

—大子っ子の夢、応援しています—

わくわく わたしの夢



南中学校3年

ほりえ 堀江 彩愛さん

私の将来の夢はウェブデザイナーです。国語の授業で、パソコンを使って大子町の特産物などを紹介するための資料作りをしたとき、先生から「才能があるね」と言われ、とても嬉しかったことがあります。それをきっかけに、ウェブデザイナーを目指すようになりました。

私が入力していること
私が将来の夢のために
今、力を入れていること

があります。それは、授業などで資料を作るとき、どこを改善したら相手がいより見やすいものになるか、自分の伝えたいことが伝わるかなど、「資料を見る人」の視点を大切にするからです。

これから日頃の小さな行いから、夢の実現に向けてできることを見つけて努力していきたいと思っています。

住民の声、聞かせてください！

議会では「議員と話そう会」を実施する団体を募集しています。

「こうなれば便利なのに」「あれがあつたらもっと住みやすいのに」

そんなあなたの声を、話を、聞かせてください。

みんなで話し合った意見をまとめて、精査した内容を町長（行政）に届けたいと思います。

対象はメンバーが5人以上の団体です。

詳細については、議会事務局（72-1115）へお問い合わせください。



高校生との話そう会風景

FM放送のお知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。

放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。



12月定例会開催予定

12月定例会開催予定

▽12月4日（水）開会

▽5日（木）自宅審議

▽8日（日）〃

▽9日（月）一般質問

▽10日（火）〃

▽11日（水）〃

▽12日（木）逐条審議

閉会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会広報委員会

委員長 川井 正人
副委員長 高村 和成
委員 根川 秀男
委員 飯村 厚子
委員 大森 剛夫
委員 須藤 明

あとがき

4月に大子町議会議員となり、第3回定例会において一般質問をさせていただきました。緊張しましたが、多くの方々のご支援を賜りこの場に立てたことに感謝申し上げます。

研修視察、防災訓練、全員協議会、定例会、勉強会、城里町議会視察、議員と話そう会など多くの活動をさせていただいております。皆様のお手伝いをさせていただけることは、自分自身の勉強になります。

大好きな大子町に住んでよかったと思えるように福祉の向上と観光のために町と共に、いつまでも故郷の生活が続いていけるよう頑張っと思っています。

議会に関心をもって「議会だより」を読んでいます。

（根本 厚子）